

# 生徒指導だより

令和7年4月  
(発行者) 山城 圭介  
交通安全指導教室

4月18日(金)に不審者避難訓練に引き続き交通安全指導教室が行われました。自分達の日頃の自転車の乗り方はどうなのか?(並列走行や二人乗り)

自転車走行にはこういった危険が潜んでいるのかを考え、これからどう行動したら良いかを一人一人、真剣に考えていましたね。みんなの安全を守るためにもこれくらいは大丈夫ではなく、安全第一で行動していきましょう。



## 5. 自転車点検

### 「光るブタはしゃべる」

- ライトはちゃんと**光る**か
- ブレーキはちゃんと**きく**か
- タイヤの空気はちゃんと入っているか
- 反射板はちゃんとついているか
- 車体に異常はないか(サドル、ペダル、チェーン、ハンドルは正常か)
- ベルはちゃんと鳴るか



## 生徒の振り返り

- 乗り慣れているから大丈夫という考えではなく、乗るたびに安全に気をつけていきたいと思いました。
- 伊平屋は十字路が多かったりカーブミラーがなかったりするから、しっかり確認していきたいと思いました。
- 並走運転をこれからはやらないようにしたい。そしてヘルメットも今後いつかできたらいいなと思った。
- 感じたことは、石嶺さんが警察 24 時に出ているのを知ってすごいなと思ったことです。
- 自転車だから大丈夫の意識が自分のなかであり、並走運転や二人乗り、十字路などでの一時停止等あまり自分の命を守る行動がいままでできていなかったのだから今回の交通安全指導教室で学んだことをしっかり頭の中に入れていつ事故が起きても自分の身を守れるようにしていきたいです。
- 今普段自転車を乗っている時横並びが結構多いので他の人に迷惑がかからないように(事故がないように)一列担って危険から自分の命を守りたいです
- 登下校中に並走を良くしてるので、ちゃんと一列になって、取り返しのつかないことになる前にもっと交通安全について学んでいきたいです。
- 伊平屋は車があんまり通らないけど、いつどこで事故は起きるかわからないので自転車乗るときは危機感を持って、今後は時間が怒らないように今日習ってわかった知識を大切にしていきたいです!
- 交通安全を通して、伊平屋は、狭くて、人も少ないけど事故を起こす要素はたくさんあるのでそこを危機感を持ってしっかり自転車に乗りたいたいです。
- 伊平屋は、人少ないから平そう運転しても大丈夫だと今まで思っていたけど、歩行者の迷惑だけでなく、車にも影響があるとしたのでこれから気をつけていきたいです。
- 田舎だからいいとか、減多に車が飛び出してこないから大丈夫と思っていて安全確認を怠っていたので敦さんが言っていたように安全確認を怠らないようにしていきたいです

